

## 編集後記

平成18年度、市史資料室の設置とともに創刊いたしました本誌も、早10号を数えることとなりました。この記念すべき本号にも文書資料部門・太宰府学研究センター部門ともに貴重な論考等を掲載することができました。ご寄稿いただいた執筆者・編者の方々には、厚く御礼を申し上げます。

文書資料部門では、本庁における現用文書の保存・整理の取り組みにかかるインタビューを掲載しました。文書以外の印刷物や物品が混在し倉庫化していた本庁4階書庫の整理を進め、中間書庫として機能するに至ったプロセスを、担当者へのインタビューで知ることができます。また、議事課所管の永年保存文書である昭和30年合併以前の旧太宰府町・水城村の議会議事録の細目録は、同資料のマイクロフィルム・紙焼きの公文書館での公開にともない、今後古いところから順次掲載し、利用者の検索の便に備えるためのものです。市役所組織変遷図は『太宰府市史通史編Ⅲ』（太宰府市、2004年9月）掲載のもの以降の変遷状況を図にまとめました。

太宰府学研究センター部門では、太宰府出身の著名な南画家である吉嗣拝山の没後100年にちなみ、明治11年の拝山の清国渡航に関する重松の論考と、今回新たに寄託契約を結んだ資料の目録とを掲載しました。新しい資料の発掘により拝山研究のさらなる進展が期待されます。竹川氏からは太宰府周辺における五卿関係遺蹟等について紹介した論考をお寄せいただきました。こちらは五卿の大宰府移転150年にちなむものです。原山年表は川添顧問が市史編さん時に作成されたものに新しい研究成果等を取り入れ再構成したもので、不明な点の多い原山の古代中世期における姿の一端を追うことができます。

当館も開館2年目を経て、行政文書の公開を目録の整理のついたところから始めることになりました。ホームページの立ち上げ及び資料目録の公開、『太宰府市公文書館報』の刊行、パネル展示の開催など、少しずつではありますが、館としての業務も進展しつつあります。関係各位におかれましては、今後ともご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(S記)

## 太宰府市公文書館紀要—年報太宰府学— 第10号

発行日 平成28年3月31日  
編集 太宰府市公文書館  
〒818-0110  
太宰府市御笠五丁目3番1号  
TEL / FAX : 092-921-2322  
E-mail:kobunshokan@city.dazaifu.lg.jp  
発行 太宰府市  
印刷 株式会社博多印刷  
〒812-0028  
福岡市博多区須崎町8番5号  
TEL : 092-281-0041